



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

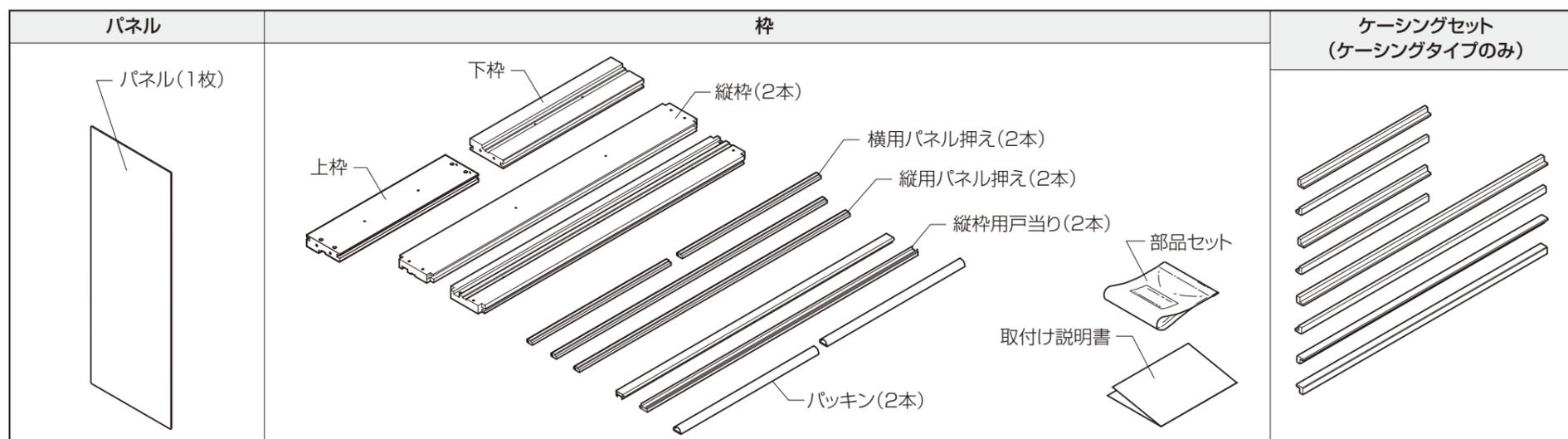
■取付け上のお願

- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。（施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。）
- 運搬・加工の際は、傷つかないように取扱ってください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 造作材・建具枠の下地材および、かい木には、合板などの乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤（現場手配）を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤（現場手配）を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理してから取付けしてください。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
- 軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のねじでは取付けできません。現地にて鉄骨までかかる長さのねじを手配してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。ただし、たたき込まないようにしてください。保持力低下の原因になります。
- 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- 枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 枠は倒れ、傾き、タイコ、ツツミ、ねじれがないように取付けてください。
- 戸当りは、ハンマーなどで直接たたき込まないでください。
- 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
- 取付け時の建具養生時などは、ダンボール、ミラーマットなどを使用し、テープを建具表面に直貼りしないでください。テープを建具表面に貼ると、表面シートを傷めたり、またテープそのものの粘着剤が表面に付着したまま残ることがあります。

■本体保管上のお願

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所
 - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細



■枠セット

	員数
縦枠	2
上枠	1
下枠	1
縦枠用戸当り	2
横用パネル押え	2
縦用パネル押え	2
パッキン	2

■部品セット

	員数
組立て用皿小ねじM4×50	8本
上下枠・縦枠取付け用DNビス(皿木ねじφ3.8×50)	14本
パネル押え取付け用皿木ねじφ3.1×25	16本

■ケーシングセット

上用ケーシング	4
縦用ケーシング	4

■パネルセット

パネル	1枚
-----	----

■取付け範囲

(単位: mm)

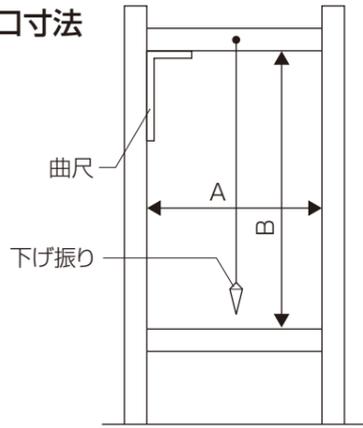
	ケーシングタイプ		ノンケーシングタイプ		
	薄壁用	厚壁用	NC156	NC171	NC180
対象壁厚	111~152	142~182	116~130	131~145	146~160

開口部の作り方

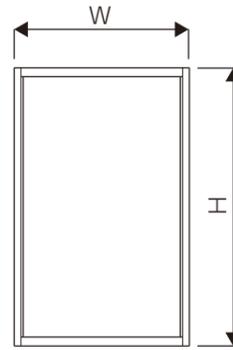
※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W+5mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

●開口寸法



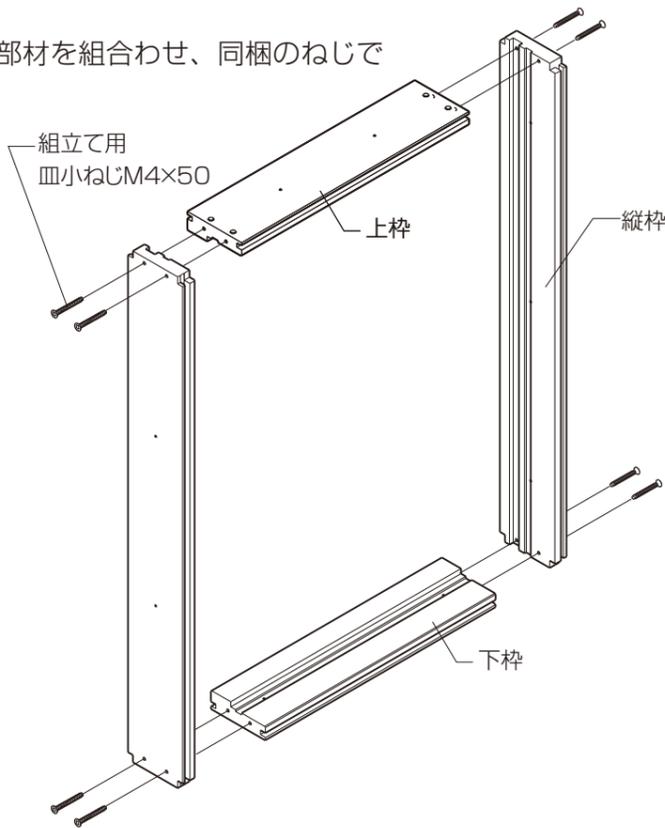
●製品寸法



取付け順序

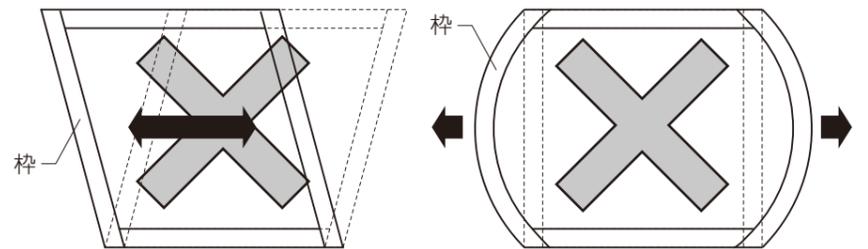
1 枠の組立て

●下図のように各部材を組合わせ、同梱のねじで固定します。



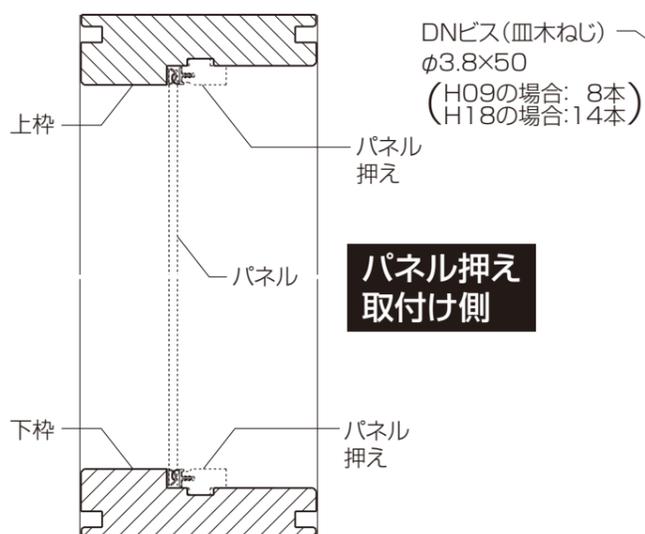
お願い

- ※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。
- ※ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
- ※枠組立て後、揺らす・引っ張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- ※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。



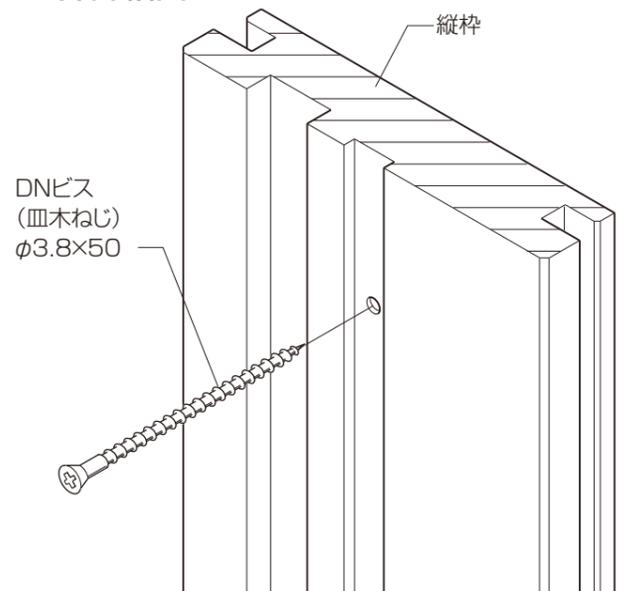
2 枠の取付け

- ①枠を開口部に固定します。
 - ②上枠とまぐさ、縦枠と柱のすき間にかい木を入れ、本固定します。
- ※枠は下図を参照の上、枠の取付け向きを決めてください。
- ※吹抜けに納める場合は、パネル押え取付け側を室内側にしてください。



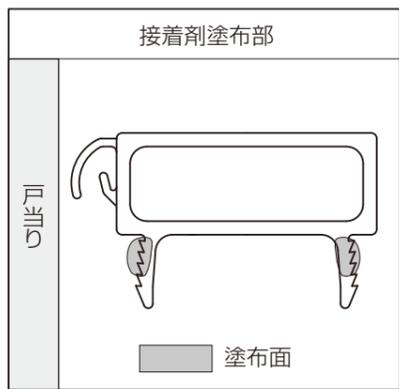
DNビス(皿木ねじ)
φ3.8×50
(H09の場合: 8本)
(H18の場合: 14本)

■A部詳細図

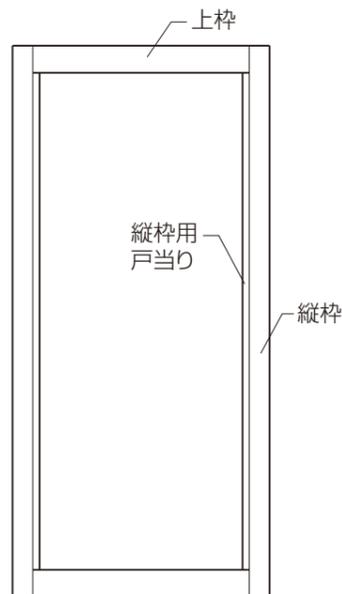


3 戸当りの取付け

- 戸当りの足の外側（リップのある面）に接着剤（現場手配）をつけ、固定してください。（塗布面は下図参照）
- 取付け後、接着剤（現場手配）がはみ出した場合は必ずふきとってください。

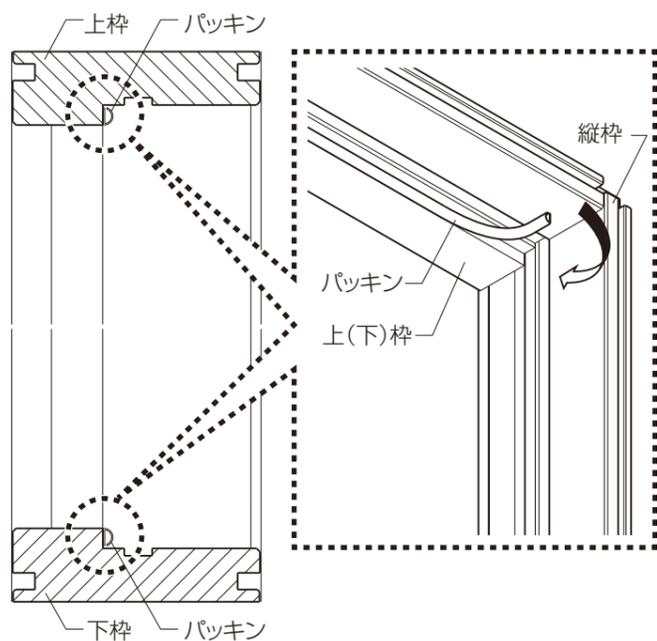


お願い
※ハンマーなどで直接たたき込まないでください。

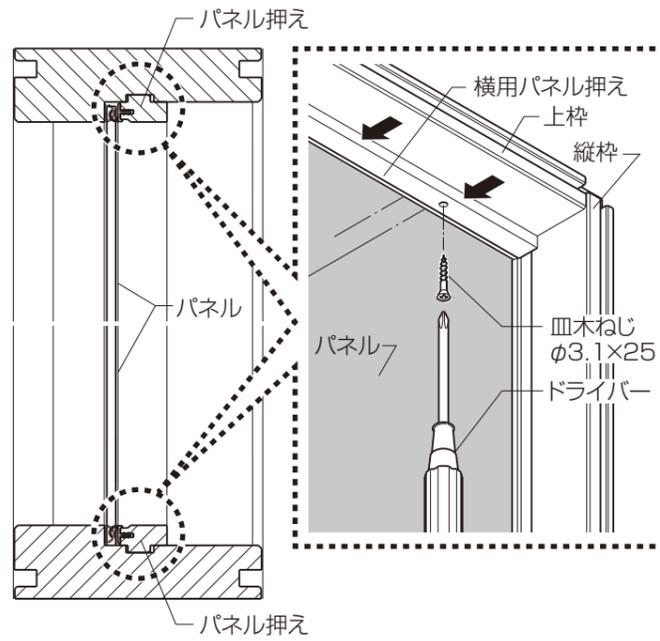


4 パネルの取付け

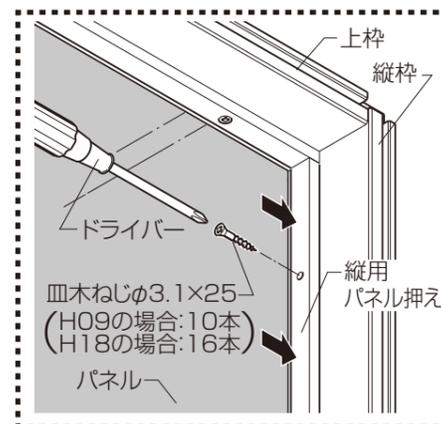
- ①上下枠の枠に同梱のパッキンを取付けます。パッキン裏面のシートをはがし、5kg程度の力で手で押して貼付けてください。



- ②パネルの養生シートをはがし、開口部にはめ込み、上下のパネル押えをパネルに押付けながら、固定ねじ（皿木ねじφ3.1×25）で固定してください。



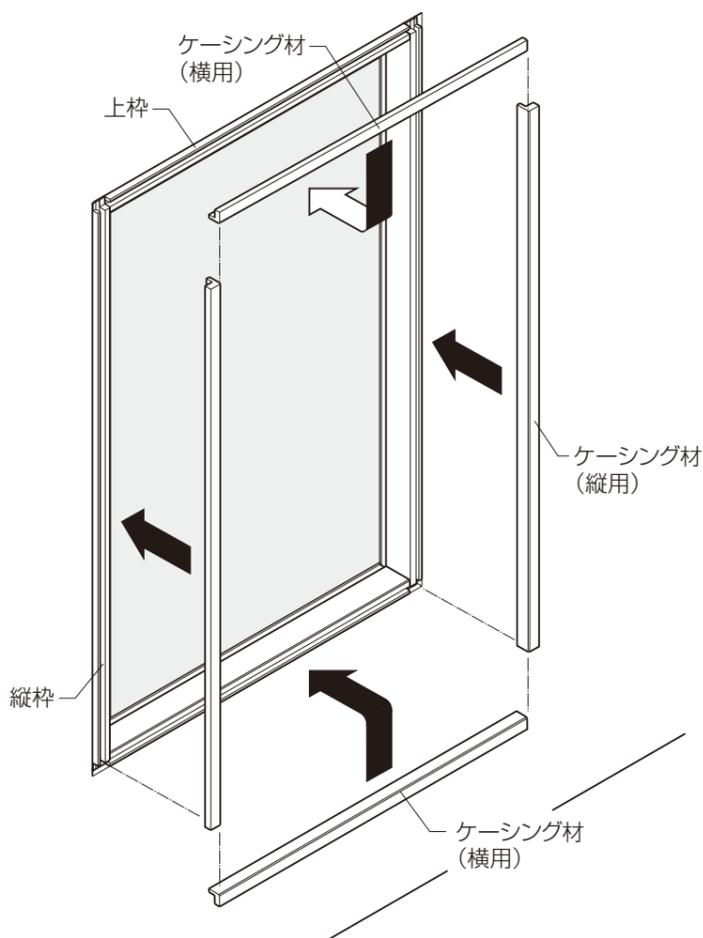
- ③縦側のパネル押えを手でパネル側に押付けながら、固定ねじ（皿木ねじφ3.1×25）で固定してください。



お願い
※ねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーか、手回しドライバーを使用してください。ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。

5 ケーシング材の取付け(ケーシングタイプのみ)

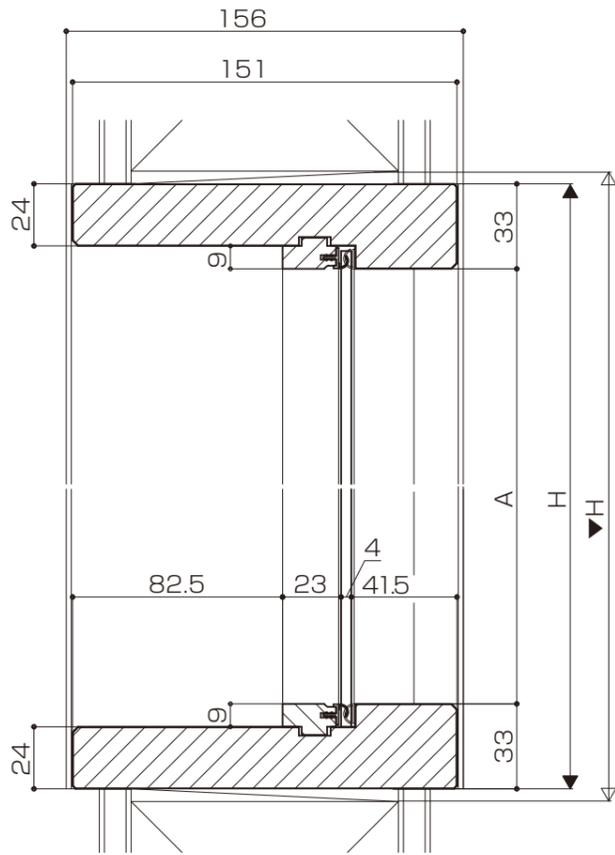
- ※壁材を仕上げしてからケーシング材を取付けてください。
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤（現場手配）を塗布し、ケーシング材を固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



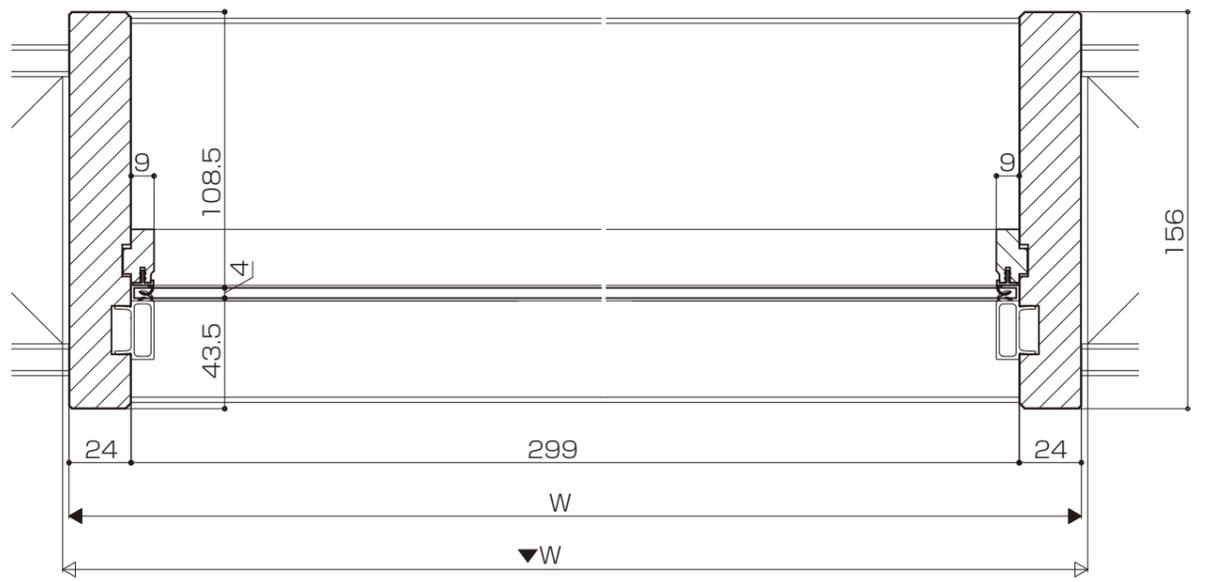
■納まり図

■ノンケーシング

●縦断面図



●横断面図

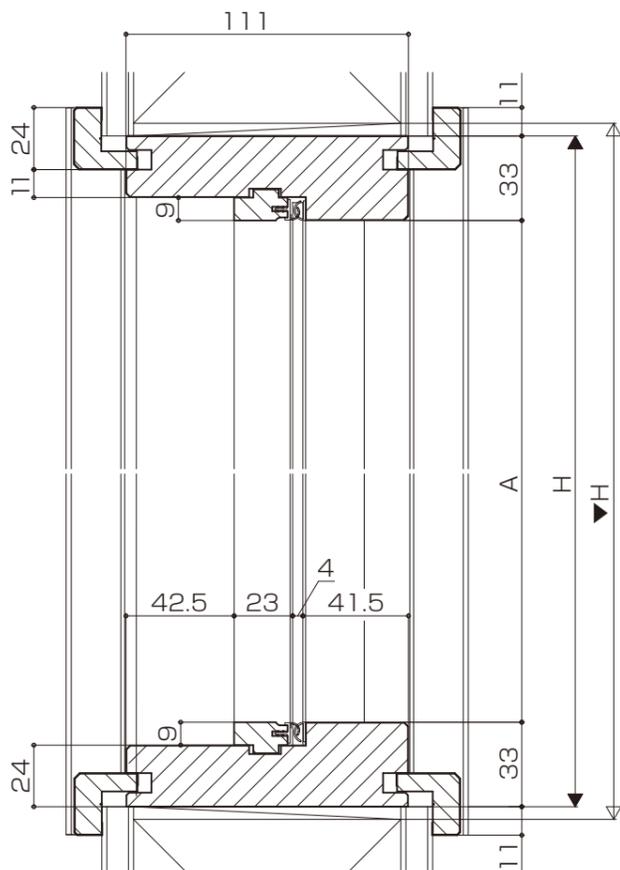


W呼称	W
03	347

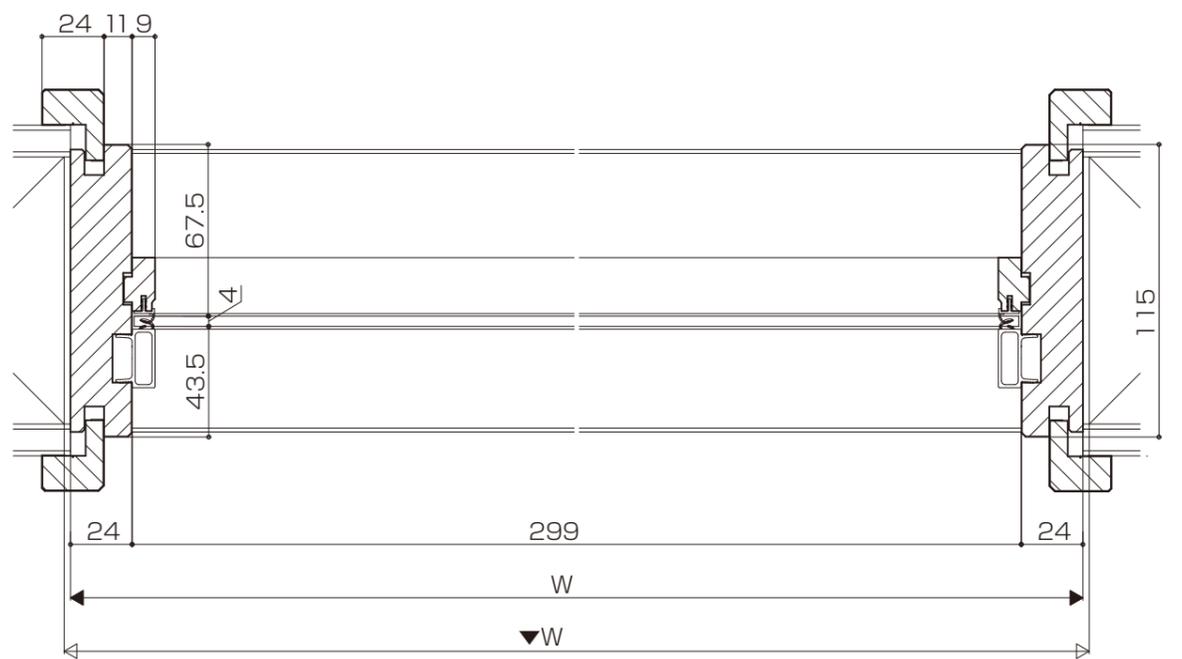
H呼称	H	A寸法
09	923	857
18	1800	1734

■ケーシング

●縦断面図



●横断面図



W呼称	W
03	347

H呼称	H	A寸法
09	923	857
18	1800	1734